

インターンシップを通して働く大切さを 知った生徒たち ～根室西高校全体発表会～



最優秀賞（齋藤君）の実習先

根室西高校では、実際の就労を通して、働くことの意義を理解し、地域社会の重要性を考えるとともに進路意識の向上を図る目的として、2年生全員（48人）が10月22日から24日にかけてインターンシップを行いました。進路希望調査や家庭訪問による保護者の意向確認など、5月から意識付けを行い、7月には文書作成・電話対応マナーなどの指導を受け、10月に入り、就業先と事前打合せを行うなどの準備を進め、当日に臨みました。

インターンシップ終了後、各自がプレゼンテーションソフトを使って報告書を作成し、クラス内で発表しました。12月20日には、お世話になった事業所の方々を招き、クラス代表8人による全体発表会を行い、インターンシップで得た貴重な経験などについて発表しました。

全体発表会では審査が行われ、最優秀賞1人、優秀賞1人、入選3人が選ばれました。澤崎浩三さわさきこうぞう教頭から「働くことの苦労や喜び、経験する前と後の気持ちの変化などがうまく伝わりました。話し方やプレゼンシートの記載方法などにも工夫が見られており、8人全員に賞を与えたいと思うくらいでした。今回の経験により、働いて収入を得ている皆さんの保護者への感謝の気持ちも、改めて湧いてくることと思います。また、卒業後、働くことのイメージをもって、これからの学校生活を充実させてほしい。」と講評があり、会場で視聴した1年生も含め真剣に耳を傾けていました。



入賞：木村 ^{かずま} 知真くん



(イーストハーバーホテル)

「ルームチェックなどの見落としが少なく、今まで来た生徒たちの中で最も良い」と言っていたとき非常に嬉しく思いました。

印象に残っていることは、「まあいいや」などと思った瞬間、負けたと思え！という言葉と、仕事を続けられるかどうかは、入社後の努力で変わるということです。仕事に対して、なりたくてこうなったわけじゃない！という時も、どこかにやりがいなどを見つけ努力すれば、きっとそれが楽しく充実したものになると思いました。

この3日間で学んだことを生かせるよう、まずは学校生活を悔いなく有意義に送りたいと思います。

優秀賞：安田さやかさん



(ホテルねむろ海陽亭)

私は、接客業に興味があり、ホテルねむろ海陽亭でインターンシップを行い、客室・宴会会場のセッティングや洗い物などのホテル業務を全般的に体験しました。

実習中は、指示を待つという場面もありましたが、「普段の家事手伝いの成果が出ているね」とお褒めの言葉をもらいました。この体験で相手に伝わるあいさつ・礼儀、返事は大きい声で行うなど、改めて学ぶことができました。

今後は、相手への思いやりや自分から行動するという心を心がけながら、将来のために勉強を頑張りたい、今を楽しく充実させた日々をしたいと思っています。

最優秀賞：齋藤 翼くん

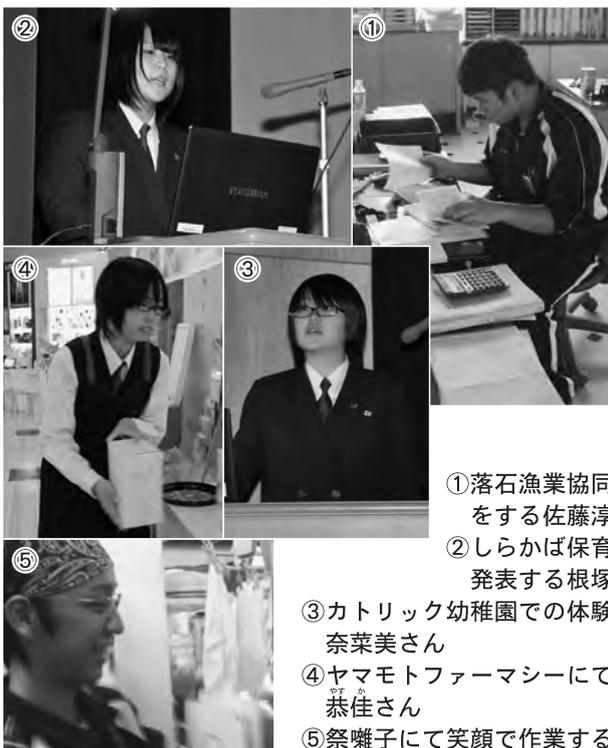


(北海道エネルギー)

僕は、北海道エネルギーで店内の掃除や洗車後の清掃・拭き上げなどを体験させてもらいました。

どの作業でも大切なことは「お客様の気持ちになって行う」ということで、あいさつや言葉使いなどもお客様が気持ちよく利用していただけるように気をつけて行いました。また、わからないことは積極的に質問し、わからないままにしないよう努力しました。

この3日間を経て、あいさつの大切さを知り、今後は授業など積極的に取り組み、卒業後胸を張って社会に出ることができるよう努力していきたいと思っています。



発表者たち

- ① 落石漁業協同組合にて作業をする佐藤淳哉くん
- ② しらかば保育所での体験を発表する根塚真帆さん
- ③ カトリック幼稚園での体験を発表する森奈菜美さん
- ④ ヤマトファーマシーにて作業する狩谷恭佳さん
- ⑤ 祭囃子にて笑顔で作業する本村拓弥くん

今年度も、市内各企業の全面的な協力をいただいたおかげで、生徒たちは、「働く」ことの意義と正しい職業観を得たことと思います。今後は、この経験を無駄にせず、進路意識を高めつつ自らの進路実現に向かっていってほしいです。

また、他の進路担当の先生方からは

年が明け、自分の将来を本気で考える時期になってきている。多くのことを学び、成長できたインターンシップだったと思うので、受け入れてくださった企業に感謝し、これからも成長を続けて欲しい。学校と企業の違いを感じたと思う。この経験を「未来」へ踏み出す力として欲しい。などのコメントが寄せられました。

先生方の声



おおさこ しょう 大迫 翔先生